

令和5年度 第6回運動好きな児童生徒育成検討委員会（会議概要）

令和6年2月15日（木）14：30～16：30

埼玉県衛生会館 532 会議室

1 開会

2 挨拶（大松教育指導幹）

- ・運動好きな児童生徒育成に向けた検討に感謝する
- ・3年事業の最終年度として事業報告書について検討をお願いしたい

3 会議の進め方について

- ・事業報告
- ・情報提供
- ・指導・講評

4 事業報告（亀山）

【事業報告書（案）】

- ・今年度作成予定の事業報告書（案）を説明。
- ・県HP（運動好き検討委員会の）にて掲載を予定している。
- ・パワーポイントデータに音声を入れた資料とする。

5 情報提供

埼玉大学教育学部教授 石川 泰成 委員長

- ・他県も本県作成動画に関して、関心がある。
- ・体育の授業が楽しいと感じている児童生徒のほとんどが運動が好きであると感じている。この因果関係があることは確かである。
- ・埼玉モデルというものは、あくまでも「参考資料」として提示していく。
- ・視察した学校について、ただ報告するのではなく、良い評価方法・観点を報告書に書き入れることが重要。
- ・評価基準の「思考力・判断力・表現力」と「学びに向かう力、人間性」は、児童生徒にとっては、同時進行しているのではないか。教員側の評価方法や観点が異なっているだけなのではないか。
- ・コンピテンシー：学んだことを必要な時に必要な場面で活用できる能力のこと。
- ・意図的教育観<成功的教育観が重要。どのように授業を行うかではなく、授業を通して、児童生徒がどんな成果が得られるかが重要である。

6 グループ討議（事業報告書の内容について）

【分科会討議】A分科会、B分科会

(1) A分科会報告（赤城委員）

- ・なぜ単元計画が大事なのかを記載する必要がある
- ・協議記録、学校視察について、イメージが付きやすいような授業だったのか一言添えるとよい
- ・課題解決研修校のテーマや単元計画デザイン上のポイントを吹き出し等で記すとわかりやすい
- ・学習の雰囲気づくりのための時間をさらに設けることで、女子（だけでなく男子）が運動好きになるのでは

(2) B分科会報告（能仲委員）

- ・授業視察について、リーフレット・動画とのつながりが（目で見て）わかるようなデザインづくりが重要
- ・小低、中学時代のはやい段階で何か策を打つ必要がある
- ・できたことだけでなく、チーム内で得られるもの等を実感できるような授業づくりが大事
- ・人間関係や個人差を作らない、個々のペースで進めることができるような授業づくりが大事

7 指導・講評

埼玉大学教育学部教授 石川 泰成 委員長

これまでの取り組みに感謝するとともに、本日の意見を踏まえ、事業報告書のまとめと周知にむけて取り組んでいく。

8 諸連絡

- ・事業報告書の周知にむけて

9 閉会